

## 9月～10月の りた

- 時 開催時間 所 開催場所  
 ¥ 参加費用 定 定員 (選定方法)  
 対 参加対象 申 参加方法  
 持 持ち物 該当テーマ

なごみん 66-8251

### 9/19 なごみんカレッジ ☆健康☆DAY

健康増進の分野で活動している団体が集まり、健康増進に特化した講座を開講します。

- 時 10:00～12:00 ¥ 無料  
 所 なごみん 全館  
 持 タオル、持ち物、動しやすい服 & 靴  
 申 直接なごみんにお越しください。  
 ※駐車場が少ないため、乗り合わせや、公共交通機関でお越しください。

よりなん 59-3600

### 10/23 よりなん感謝祭

発表や作品展示および物品販売を通じて市民の方と、活動団体の方が触れ合う機会をつくります。ぜひさまざまなジャンルの活動を見て触れて感じてください。

- 時 9:30～15:00  
 所 よりなん 全館  
 ¥ 無料 (一部有料)  
 申 直接よりなんにお越しください。

むらさきかん 66-3066

### 9/11 むらさきかん フェスタ

市民活動団体による舞台発表、体験コーナー、展示、バザーをお楽しみください。ブースで体験をされた方には景品も。皆様のご来場をお待ちしております。

- 時 9:30～15:30 ¥ 無料 (一部有料)  
 所 むらさきかん 全館  
 申 直接会場にお越しください。

悠紀の里 57-5050

### 9/11 まち育てスクール まちづくり先駆者の 足あとを歩く

六ツ美の発展に大きく関わった3人の足あとに触れながら南部のまちを楽しく歩きましょう。①悠紀の里→②旧街道→③浄光寺 (トイレ休憩)→④広田川堤防→⑤八幡神社→⑥悠紀の里 (ゴール)  
 ※2時間程度を予定

- 時 9:00～12:00 ¥ 無料  
 所 悠紀の里集合後、周辺を散策  
 持 動きやすい服 & 靴、飲み物、タオルなど  
 申 9/10までに悠紀の里にご連絡ください。

まち育て推進チーム 23-2888

### 9/14 リノベーション まちづくり シンポジウム④

「空き家マッチングからはじまるまちづくり／長野野前暮らしのすすめ」と題し、長野県のリノベーションまちづくりの実例を倉石智典氏(株式会社MYROOM)をお招きし語っていただきます。

- 時 18:30～20:30 ¥ 無料  
 定 150名(当日先着順・雨天時は80名)  
 所 籠田公園 (雨天時は連尺通  
グラスパークビル)  
 申 直接会場にお越しください。

### 9/14 ポテンシャル 物件先取りツアー

籠田公園周辺を歩きながら空き物件を見学し、今までの使われ方や今後の活用方法を考えます。まちなかで新たな事業をはじめたい方は必見です。

- 時 13:30～15:30 ¥ 無料  
 定 10名(先着)  
 申 〒住所、氏名、電話番号、申込理由を電話(23-6210)かFAX(23-6213)か、Eメール(shoko@city.okazaki.lg.jp)でお送りください。

### 10/21 第2回 リノベーション スクール@岡崎

中心市街地にある実際の空き物件を活用した、リノベーション事業計画を、全国で活躍するユニットマスター(講師)とともに考え、実事業化を目指します。

- ¥ 15,000円(教材費込)※学生5,000円  
 定 24名(選考)  
 申 9月上旬から募集開始。詳しくは岡崎市ホームページをご覧ください。

pick up  
 岡崎で始めよう!  
 エコロジカルデモクラシー。

2016年9月26日(月)  
 18:30～20:30

場 所 | 図書館交流プラザ・りぶら 301 会議室  
 定 員 | 80名(先着順) ※予約不要

岡崎で持続可能な地域社会を実現するためにはどうしたらよいのでしょうか?みなさんと共に考えます。

[イベント内容]  
 ①「りたが提案するこれからの岡崎について」  
 天野裕 (岡崎まち育てセンター・りた 事務局長)  
 ②基調講演 「エコロジカルデモクラシー (仮)」  
 土肥真人氏 (東京工業大学准教授、造園学)  
 ③交流 & テーブルトーク

岡崎まち育てセンター・りた  
 10th  
 シンポジウム

まちのミカタ

# Litaracy

ーりたらしいー

82  
 2016年9月



## 特集 水辺を使いこなせ! 「おとがワ!ンダーランド」

南北に矢作川、東西に乙川が流れる岡崎市。特に乙川は旧額田町との合併によって上流域も岡崎市になったことから、水系すべてが岡崎市に属することとなりました。これは他地域と比べてもとても稀なことと言えます。こうした独自性、優位性を持つ岡崎市において「河川」を資源としてとらえ、また河川流域という空間(のつながり)でまちづくりを考えていくことが、新たな問題解決への突破口となりそうです。

一方で全国に目を向けると、平成23年の河川法の規

制緩和により営業活動による河川敷地の占用が可能となったことを受け、水辺のにぎわいを取り戻す全国プロジェクト「ミズベリグ」が始動しています。今後水辺から始まるまちづくりが全国的なムーブメントとなりそうです。

ここ岡崎市でも官民が連携し、水辺という資源を活用した観光産業都市創造に資する「かわまちづくり」の取り組みが始まっています。それが「おとがワ!ンダーランド」です。今回はこの取り組みをご紹介します。

まちのミカタ

Litaracy

2016.9 vol.82

発行・編集

特定非営利活動法人  
 岡崎まち育てセンター・りた

〒444-0072 岡崎市六供町字杉本78-1  
 TEL (0564)23-2888 / FAX (0564)23-2898  
 http://www.okazaki-lita.com  
 http://www.facebook.com/okazaki.lita

配布

岡崎市図書館交流プラザ・Libra / 岡崎市内の地域交流センター  
 会員宛へ郵送 等 ※会員登録をご希望の方は左記までご連絡ください。

配布協力

岡崎市役所各支所 / 岡崎市各市民センター / シビックセンター /  
 FMおがさき / 杉くんの駄菓子屋 / angel share /  
 コミュニティ・ユース・バンクmomo / cafeくらがり /  
 CAFE&TABIBOOKS隠れ家 / 長善館 / 松應寺

特集

# 水辺を使いこなせ! 「おとがワ!ンダーランド」

## ●「おとがワ!ンダーランド」とは?



「おとがワ!ンダーランド」は、市民の自由と責任のもと、乙川をより魅力的な場所へ変えていくための社会実験プロジェクトで、「岡崎市」と「乙川リバーフロント地区かわまちづくり協議会」が主催しています。2016年7月19日(火)～9月4日(日)に乙川の殿橋から名鉄鉄橋の区間で飲食、物販、アクティビティなどの事業を一般公募し、実施・検討を経て河川活用のあり方を模索します。期間中、34のさまざまなプロジェクトが実施され、キャンプする人、薪を割る人、スポーツをする人などにぎわいました。「川」という公共空間を主体的に活用することで、まちの活性化を自分事として考えていただくきっかけになることを期待しています。

## ●写真で見る水辺のにぎわい(抜粋)



## ●にぎわいの定常化に向けて

社会実験として公募事業は一定期間で終了しますが、一時的なにぎわいから定常的ににぎわいへつなげるべく、主催者を中心に今後も検討を重ねていきます。これからの動きにご期待ください。

### 日本の水辺を元気にする 全国プロジェクト 「ミズベリング」とは?

水辺に興味をもつ市民や企業、そして行政が一体となって日本の水辺の新しい活用の可能性を創造していく全国プロジェクト。「つなごう」「かたろう」「ためそう」「つくろう」「育てよう」の5つのアクションで、日本の水辺からまちの元気を創造しようとしています。ウェブサイトで全国の取り組みやイベント、河川法の詳しい解説が確認できます。

**ミズベリング公式Webサイト**  
<http://mizbering.jp/>

最新情報は検索エンジンで「おとがワ!ンダーランド」と検索してください。

<http://otogawa.jp/>  
<https://www.facebook.com/otogawawanderland/>

# 7月～8月のりた

## なごみん 8/2～5 **なごみん横丁**



なごみん名物とも言える、子どもたちが自ら考えまちを自治するイベント。今年で10回目を数え、横丁で遊んだ子どもたちが今や大人として運営を担ってくれるなど、年々進化しています。

## よりなん 7/24 **よりなん昔のあそび体験フェスタ**



昔の遊びを通じて多世代大交流を促し、顔の見える地域づくりに貢献しました。

## やはぎかん 8/21 **子どもの街**



遊びを通して子どもの創造性を育むイベントを開催しました。

## 市民活動センター 8/27 **まちフェスその後の経過報告座談会**



今年2月に開催し、多くのつながりが誕生した「マッチングフェアin第5回岡崎まち育てフェスタ」。その経過報告会を開催し、マッチングによる成果を共有しました。

## まち育て推進チーム 8/17 **リノベーションまちづくりシンポジウム③**



籠田公園にてポットラック形式で夜のピクニックを楽しみながら、ゲストトークやトークライブを通じてリノベーションまちづくりについて考えました。

## まち育て推進チーム 8/21～28 **おとがワ!ンダーランド (コア期間)**



市民自ら乙川を使いこなす、34のプログラムが集結。乙川ににぎわいが生まれました。  
※詳細は特集参照

### まちのミカタ事典

岡崎のまちづくり、市民活動に関連したワードを紹介

#### え【エコロジカルデモクラシー】

(えころじかるでもくらしー)

次世代のコミュニティ・デザインに必要とされる概念として、りた事務局長・天野の師の土肥真人氏のさらに師であるランドルフ・T・ヘスター氏が提唱した。

ある意思決定をするコミュニティの領域を自然や生活圏などの生態系により画定されるひとまとまりとして考えると、現在社会的、歴史的に生成されている民主主義のそれと異なる場合が多い。

民主主義の領域と生態系の領域を重ねて私たちの生活や暮らしを考え直すための道具となる概念と言える。

一口に「生態系」といっても、とらえ方は様々です。「近隣住民」も「河川の水系」も、「高齢者」も同一の生態系ととらえることができます。これからのまちづくりはこうした「生態系」という面で課題をとらえていく必要があります。「りた」10周年シンポジウム(裏面参照)では、この「エコロジカルデモクラシー」をテーマとして、社会的な生態系を空間的に考え、持続可能なまちづくりのために私たちができる身近なことは何か、みなさんと考えたいと思いません。ぜひ、ご参加ください。